

茨城大学との共同研究創発プロジェクト Joint **結**

第4期 参加企業募集のご案内

実施期間：2024年7月～9月（1次募集）10月以降も随時受付予定

当協会では「会員企業の産学連携支援」の一環として、会員企業のニーズと地元大学のシーズを結び付け、共同研究を創発・実施することで、経営力を強化し、地域の活力を高めることを目的に、茨城大学のご協力のもと、共同研究創発プロジェクト『Joint結(ゆい)』第4期を開設します。第1期～第3期においては延べ35社にご参画いただきました。

第4期においてもご参画いただきやすいスタイルでの「入門コース」と、よりピンポイントなテーマでの「専門コース」を設定いたしました。

茨城大学のゼミ学生のアイデアを生かせる研究テーマもあります。大学の知見を取り入れたいとお考えの経営者の皆様、是非ともご検討下さい！

共同研究に参加してみませんか？

産学連携はうちには関係ない？

産学連携

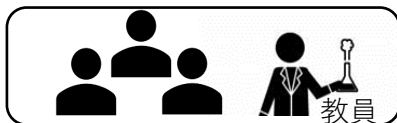
大学と接点がない…

どんなメリットがあるの？

Joint 結 は産学連携の最初「**第一歩**」をご支援いたします！

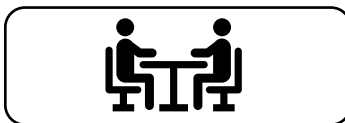
🎀 入門コース

「入門コース」では、研究費を低廉に設定しつつ、産学連携を体感・活用いただく機会を提供。事前に設定された研究テーマの中から、関心のある研究テーマに参画。テーマによっては、複数社（2社以上）によるワークショップ形式なども可能。



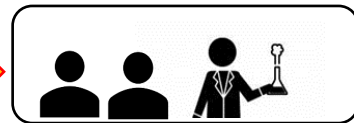
◆初回面談

- ・企業側ニーズ確認
- ・大学教員との研究テーマや実施方法の調整



◆共同研究契約締結

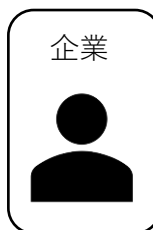
- ・秘密情報や研究成果の取り扱いを含む契約
- ・共同研究費の納入



◆共同研究の実施

🎀 専門コース

企業の皆様の具体的な課題（研究テーマ）について茨城大学研究・産学官連携機構のコーディネートのもと、大学教員との共同研究に向けた打ち合わせを設定します。



企業

課題

実施内容調整

共同研究契約

教員



👤 サポートデスク

共同研究に興味があるが、自社での具体的な取組みがイメージできない場合は、コーディネーター等と経営課題の抽出とテーマ設定の場を設定し共同研究に導きます。

自社の課題？

どうすれば解決できる？

茨城大学
研究・産学官連携機構

茨城県経営者協会

課題抽出

マッチング

共同研究創発プロジェクト Joint 結 第4期



共同研究スタート前にテーマ毎に担当教授と初回面談（無料）を設定させていただき、各企業様のニーズとの合致を確認後、①当初の通り入門コースへの参加、②専門コースへの移行、③サポートデスクへの移行、④参加見合わせ、などの選択が可能です。

入門コース研究テーマ ※参加費の納入は茨城大学への振込となります。

テーマ1：企業・組織の強みを活かしたビジネス・イノベーションの共同検討
キーワード：イノベーション、経営戦略、経営資源、コア技術、組織能力
参加費(1社当たり)：10万円(税込)

テーマ2：営業活動に留まらないマーケティング活動の構築や改善、顧客経験の検討、
マーケティング・リサーチ
キーワード：マーケティング、製品やサービスのマネジメント、顧客ニーズの深堀
参加費(1社当たり)：20～30万円(税込) (実施内容に応じて決定)

テーマ3：3-1) 利益を上げるアイデアの創出、3-2) 社内のアイデアパーソンの育成
3-3) ユニバーサルデザインの商品開発
キーワード：アイデア創出、アイデアパーソンの育成、思考法ワークショップ、商品開発
ユニバーサルデザイン
参加費(1社当たり)：15万円+参加者数×2万円(税込)

テーマ4：宇宙天気現象が与える人工衛星の被害予測や軌道変化
キーワード：宇宙開発、人工衛星、太陽活動、太陽フレア、オーロラ
参加費(1社当たり)：30万円(税込)

テーマ5：水と生態環境の保全
キーワード：水路、河川、魚類、シミュレーション、深層学習
参加費(1社当たり)：研究内容に応じて設定

各研究テーマのより詳しい情報（概要及び担当教員による研究テーマ紹介動画）は、別添の「入門コーステーマ一覧」をご参照ください。

専門コース（個別に茨城大学と共同研究を希望される方）

◆ 参加費用（1社当たり）：テーマ・内容に応じて積算。

サポートデスク（自社の経営課題や研究テーマの検討を希望される方）

共同研究に興味があるが、自社の課題が明確になっていない場合や入門コースに自社課題にマッチするテーマがない場合にはこちらにご相談ください。

◆ 利用費用（1社当たり）：無料 ※サポートデスクから専門コースへの移行も可能です。

【申込締切】 6月28日（金） 別紙「参加申込書」にてお申込願います。

申し込み・お問合せ先：

一般社団法人 茨城県経営者協会 事務局（担当：加藤丈、後藤）

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11階

Tel：029-221-5301 Fax：029-224-1109 Eメール：gotou@ikk.or.jp

FAX(029-224-1109) E-mail(gotou@ikk.or.jp)
 茨城大学との共同研究プロジェクトJoint結 第4期 参加申込書
 一般社団法人茨城県経営者協会

会社名	
所在地	〒
申込担当者 所属・氏名	TEL : FAX :
E-mail	

ご希望コース	<input type="checkbox"/> 入門コース <input type="checkbox"/> 専門コース <input type="checkbox"/> サポートデスク ※ 迷う際は、サポートデスクにチェック願います。「こんな課題に取り組めないか」との内容でも結構です。
--------	--

◆ 入門コースをご希望の方

希望テーマ① テーマ番号か項目 をご記入ください	
希望テーマ② テーマ番号か項目 をご記入ください	
ご質問・ご意見	

◆ 専門コースをご希望の方

希望される分野、 テーマ、内容など を具体的にご記入 ください	
ご質問・ご意見	


◆ サポートデスクをご希望の方


ご興味のある分野、 内容などをご記入 ください	
ご質問・ご意見	


【お問合せ】 一般社団法人茨城県経営者協会 事務局（担当：加藤文、後藤）
 〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11階
 TEL : 029-221-5301 FAX : 029-224-1109 E-mail : gotou@ikk.or.jp


共同研究創発プロジェクト Joint結 第4期


【入門コーステーマ一覧】

テーマ1	
共同研究テーマ	企業・組織の強みを活かしたビジネス・イノベーションの共同検討
キーワード	イノベーション、経営戦略、経営資源、コア技術、組織能力
テーマ概要	<p>本学に着任してまだ二年足らずですが、県内のさまざまな企業の方々にお話をお伺いしますと、どの企業も特筆すべき経営資源、すなわち他社を凌駕する強みを具備していることに驚かされます。その一方で、そうした経営資源を十分活かしきれず、事業成長に向けて日々苦闘する経営者の方々が少なくありません。そこで私は、個々の組織が持つ強みを経営学的視点からあらためて再定義し、企業の皆さまに寄り添いながら、その強みを活かしたイノベーションと一緒に探求する取組みを実践して、地場産業の飛躍的成長に資する活動を推進したいと考えております。ぜひ一緒に茨城発イノベーションにチャレンジしませんか？お声がけを心よりお待ちしております。</p>
担当者	人文社会科学部・准教授・太田 啓文
テーマ紹介動画	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>クリックして動画を視聴する (右のQRコードから動画視聴可能です)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

テーマ2	
共同研究テーマ	営業活動に留まらないマーケティング活動の構築や改善、顧客経験の検討、マーケティング・リサーチ
キーワード	マーケティング、製品やサービスのマネジメント、顧客ニーズの深堀
テーマ概要	<p>顧客との関係に基づいてマーケティング全般を捉えなおす取り組みをお考えの方、さらには、こうした問題から新規事業の構築や既存事業の再構築をお考えの方、はばひろく対応できる研究テーマを掲げておりますので、遠慮なくご相談になってください。</p>
担当者	人文社会科学部・教授・今村 一真
テーマ紹介動画	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>クリックして動画を視聴する (右のQRコードから動画視聴可能です)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

テーマ3	
共同研究テーマ	3-1) 利益を上げるアイデアの創出 3-2) 社内のアイデアパーソンの育成 3-3) ユニバーサルデザインの商品開発
キーワード	アイデア創出、アイデアパーソンの育成、思考法ワークショップ、ユニバーサルデザイン、商品開発
テーマ概要	<p>共同研究テーマ3-1)、3-2) について 「利益を上げるアイデアの創出×社内のアイデアパーソンの育成」コースです。今回は、京都大学サマーデザインスクールで実施した思考法ワークショップの改訂版を使用します。期間は2週に1回、1回90分のワークショップを5回、約2か月間（内容は別途打合せ）です。1名から参加が可能です。ダンロップ（住友ゴム工業）やコベルコ（神戸製鋼所）が採用・実践した思考法ワークショップです。ワークショップの期間は短いものの、内容と質は同等なので、効率的かつお得に思考法の実践が可能です。</p> <p>共同研究テーマ3-3) について 思考法ワークショップを用いた「ユニバーサルデザインによる商品開発」コースです。ユニバーサルデザインは、齋藤の研究テーマで、動画で紹介する実績などがあります。このコースは、企業の状況に合わせたワークショップ（内容は別途打合せ）を行います。</p>
担当者	教育学部・教授・齋藤 芳徳
テーマ紹介動画	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>クリックして動画を視聴する (右のQRコードから動画視聴可能です)</p> </div> 

テーマ4	
共同研究テーマ	宇宙天気現象が与える人工衛星の被害予測や軌道変化
キーワード	宇宙開発、人工衛星、太陽活動、太陽フレア、オーロラ
テーマ概要	<p>太陽活動が活発になり、2025年にその活動のピークになると予想されている。太陽フレアも活発となり、本年5月に赤いオーロラが全国各地で見られたことは記憶に新しい。同時に、GPS信号が cm でエラーが出て、農業用の自動運転機器の位置ずれが発生したことはあまり知られていない。しかし、このような私たちの身近な生活への隠れた影響はこれからのブルーオーシャンであるので、被害予測などが必要である。私の研究室では人工衛星の軌道変化について研究をしており、5月の太陽フレア時に急激な降下があったことを見い出している。</p>
担当者	理学部・教授・野澤 恵
テーマ紹介動画	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>クリックして動画を視聴する (右のQRコードから動画視聴可能です)</p> </div> 

テーマ5	
共同研究テーマ	水と生態環境の保全
キーワード	水路、河川、魚類、シミュレーション、深層学習
テーマ概要	<p>河川や水路における①水の流れの観測やシミュレーション，②魚の生息環境評価と魚類保全施設の設計支援が主な研究テーマです。研究室の強みはコンピュータを用いた解析です。これまで，流れ解析ソフトを用いた詳細な流れ・土砂輸送の現状把握と将来予測，水路や魚類保全施設の管理手法提案を実施してきました。近年では水中画像の撮影と深層学習による，魚類の自動検出に取り組んでいます。このような取り組みをふまえ，河川・水路等の設計上の課題解決，流れや水生生物の観測装置開発，流れや物質輸送のシミュレーション手法開発に関連した共同研究が可能です。</p>
担当者	農学部・教授・前田 滋哉
テーマ紹介動画	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>クリックして動画を視聴する (右のQRコードから動画視聴可能です)</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>